

# 書き初めの伝統 盛大な年頭の行事



書道を嗜む人にとって、書き初めは最も聖なる伝統行事である。

寺子屋時代から培われた菅公信仰により、天神神社では、境内の特設自由書初場と、参集殿の席上書き初め風景は、年頭の行事として豊かな情趣を盛り上げている。

神社では、この席上書き初めのほか地方で行なわれた書き初

め作品を公募し、書道家の審査を経て各賞を選考し、二月二十四日から三月二日迄、書き初め書道展を開催する事になっている。

この書道展にて、表彰される上位の入賞者は、次の通りである。

## 席上揮毫の部

神社本庁統理賞

大橋 直子  
菱田 泰史

泉神社庁長賞

桜井 南奈

岐阜支部長賞

玉田 百恵

天神神社賞

玉田 圭恵

## 公募作品の部

文部科学大臣賞

永縄 美晴

総務大臣賞

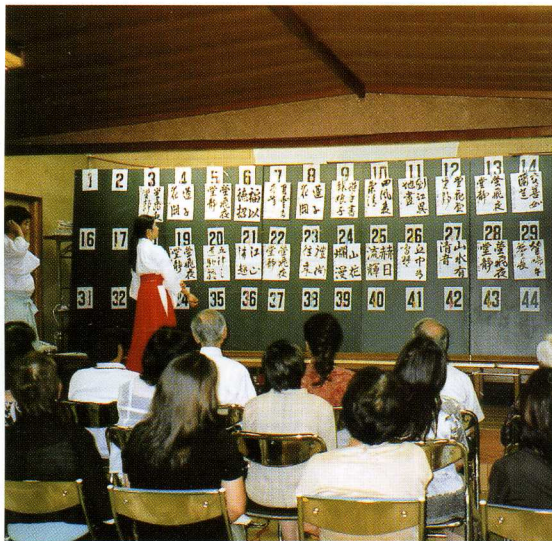
桜井 南奈

長良天神大賞

奥村 真吾



席上書き初め



審査状況

同 準大賞

細江 真末  
奥村 真衣  
山田 佳栄  
森 美月  
田中 陽州

## 神宮の初詣

### 恒例の団体参拝

天神神社恒例の神宮初詣の団体参拝が、一月十七日に一行五十五名日帰りで行なわれた。

外宮参拝の後、内宮では御垣内参拝と神楽奉納の行事を行い、倉田山の神宮徴古館を見学し、神宮縁故の品々を拝観、感激を深めて帰岐した。

## 奉賛会の新会長

### 白橋国弘氏就任

前会長豊田元樹氏逝去により、会長代行を勤められた、白橋国弘氏が平成十九年十一月の総会で、満場一致で推挙され、新会長に就任された。

同氏の夫人美智子氏は、夙に敬神「白梅婦人会」の会長として活躍されており、一家挙げての神社奉仕は、実に希有な慶事である。